

第12回 国際芥川龍之介学会プログラム

*International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies*

(9月15日 \*18:00~ 理事会 \*索菲亞国際大酒店(ソフィアホテル)1Fロビー)

2017年9月16日〔土〕—17日〔日〕 研究発表

中国海洋大学(中国) 嶗山キャンパス  
青島市嶗山区松岭路238号

大会テーマ「芥川龍之介研究の未来へ——若手研究者特集」

大会実行管理 秦剛(北京外国語大学・中国支部長)  
五島慶一(熊本県立大学・大会実行委員長)  
大会総合進行役 (第1日) 堀竜一(新潟大学・大会実行委員)  
(第2日) 高橋龍夫(専修大学・大会実行委員)

〔第1日目〕

8:00~9:00 受付 行知楼報告厅(行知楼ホール)

9:30 ~

司会 中国海洋大学 王 光民

◇開会の辞 大会実行委員長 五島慶一  
◇会場校挨拶 中国海洋大学 副学長 李 巍然  
◇会長挨拶 国際芥川龍之介学会 会長 宮坂 覺  
◇挨拶 在青島日本国総領事館総領事 遠山 茂  
(記念撮影)

10:20 ~ 【開幕記念シンポジウム】 行知楼報告厅

「マルチメディア時代の芥川龍之介の表象——文学の流通・越境・再生産——」

司会・コーディネーター フェリス女学院大学 宮坂 覺  
パネリスト(映画) 北京外国語大学 秦 剛  
パネリスト(インターネット) 専修大学 高橋 龍夫  
パネリスト(図版・写真・絵本) 青山学院女子短期大学 安藤 公美  
パネリスト(漫画・アニメ) 広島女学院大学 足立 直子

(終了後、午後の会場についてなどの諸連絡があります)

昼食会場 「潮音餐厅」(潮音レストラン)

【午後の部】

※個人発表は 20分+質疑20分・両日とも原則二会場平行進行

(※ 発表間の5分は休憩というより、会場移動・調整のため。以下同じ)

第Ⅰ部 13:15～14:40

【第一会場】 文学与新聞伝播学院 135室 司会 武藤清吾(琉球大学)

(13:15～13:55) 個人発表①-1 芥川龍之介の「杜子春」の行方

イムフンシク  
林薰植(慶南大学校・韓国)

(14:00～14:40) 個人発表②-1 「六の宮の姫君」再論

任常毅(上海商学院・中国)

【第二会場】 外国語学院 217室 司会 伊藤一郎(東海大学)

(13:15～13:55)

個人発表①-2 芥川龍之介における禅の思想

市川裕見子(宇都宮大学)

(14:00～14:40)

個人発表②-2 芥川龍之介の「徐家匯」(「上海游記」)考

チョンサオク  
曹紗玉(仁川大学・韓国)

第Ⅱ部 14:55～16:20

【第一会場】 文学与新聞伝播学院 135室 司会 大國眞希(福岡女学院大学)

(14:55～15:35)

個人発表③-1 芥川龍之介の聴いた「魔笛」

王淑容(実践大学・台湾)

(15:40～16:20)

個人発表④-1 芥川龍之介「長江」と関東大震災

宋武全(湖州師範学院・中国)

【第二会場】 外国語学院 217室 司会 小谷瑛輔(富山大学)

(14:55～15:35)

個人発表③-2 中国における芥川龍之介文学の翻訳

——三つの「支那游記」の中国訳を中心について

孟一霏(熊本大学院生)

(15:40～16:20)

個人発表④-2 芥川龍之介『支那游記』における中国人女性の表象

——芸者に視る「真正な女性の美」について

車花子(中央大学院生)

### 第Ⅲ部 16:35～18:00

【一会場のみ】 外国語学院513室

パネル発表① 『支那遊記』をとりまく時代

本パネル発表に於ける試み 庄司達也 (横浜市立大学)  
中国ナショナリズムの勃興と日本の大陸拡張 楊志輝 (恵泉女学園大学)  
台湾の日本統治時代における芥川文学受容について—新垣宏一に即して—  
林颯君 (白百合女子大学)  
芥川訪中期の「活孟徳」 田中靖彦 (恵泉女学園大学)  
「日支親善」の蹉跌とジェンダーバイアス—梅蘭芳の訪日公演をてがかりに—  
篠崎美生子 (代表者・恵泉女学園大学)

(懇親会 「潮音餐厅」)

〔第2日目〕 (9:25 諸連絡)

### 第Ⅰ部 9:30～10:55

【第一会場】 文学与新聞伝播学院135室 司会 奥田雅則 (関西学院大学非常勤)  
(9:30～10:10)

個人発表⑥-1 芥川龍之介『秋山図』論

周芷冰 (関西学院大学院生)

(10:15～10:55)

個人発表⑦-1 芥川龍之介から室生犀星へ

孫媛媛 (富山大学院生)

【第二会場】 外国語学院217室 司会 安藤公美 (青山学院女子短期大学非常勤)  
(9:30～10:10)

個人発表⑥-2 芥川龍之介とその時代——自殺を巡る中日文壇の反響から——

謝銀萍 (国際基督教大学院生)

(10:15～10:55)

個人発表⑦-2 『文芸戦線』における芥川龍之介の受容

李慧珏 (大阪大学院生)

### 第Ⅱ部 11:10～12:35

【第一会場】 文学与新聞伝播学院135室 司会 奥野久美子 (大阪市立大学)  
(11:10～11:50)

個人発表⑧-1 芥川龍之介におけるもう一つの漢詩受容像——「パステルの龍」を中心に

劉娟 (大阪市立大学院生)

(11:55～12:35)

個人発表⑨-1 芥川龍之介の植民地政策に対する批判意識について

——岩見重太郎観と桃太郎観を中心に——

胡逸蝶 (広島大学院生)

【第二会場】 外国語学院217室 司会 小澤純(慶應義塾志木高等学校)

(11:10～11:50)

個人発表⑧-2 晩年の芥川思想における「アポロン・ディオニュソス論」

——矛盾となるニーチェの形而上学論の否定

FERREIRO DAMASO (広島大学院生)

(11:55～12:35)

個人発表⑨-2 芥川龍之介の志賀直哉、葛西善蔵への評価をめぐって

落合修平 (明治大学院生)

(昼食休憩 「潮音餐厅」 ※ 理事会)

### 第Ⅲ部

【一会場のみ】 外国語学院513室

14:05～14:45 司会 高橋龍夫 (専修大学)

個人発表⑩ 芥川龍之介「葱」論——軽薄な知の系譜と知識人——

金子佳高 (明治大学院生)

14:55～16:20

パネル発表② 芥川龍之介とメタフィクション

概説・芥川龍之介とメタフィクション 中村三春 (北海道大学)

芥川文学におけるメタフィクションと売文の問題 大西永昭 (松江工業高等専門学校)

芥川龍之介「少年」の行軍将棋における存在論的虚構感覚

——「サンティマンタリズム」を視座として—— 小谷瑛輔 (代表者・富山大学)

メタフィクションと芥川文学 李敏姫 (高麗大学校・韓国)

16:20 閉会の辞 細川正義 (副会長・関西学院大学)

16:25 総会 (本部・支部報告、会計報告、事業計画、その他)

(17時終了予定)

晩餐会 索菲亜国際大酒店 (ソフィアホテル) 七階多目的ホール

9月18日(月) フィールドワーク①(崂山方面)

19日(火)～21日(木) フィールドワーク②(曲阜・泰山)